

農産加工で起業めざせ

農産加工カリスマ

小池学校



加工による起業などについて講義する小池さん（1日、長野市で）

先輩がノウハウ伝授

長野市で

農産加工で起業を目指す若手農業者に、先輩女性リーダーが知恵とノウハウを伝授——。こんな実践的講座が1日、長野市でスタートした。長野県喬木村で加工所を営み、全国各地の農産物の加工品化を支援する小池

芳子さん（小池手造り農産物加工所代表）らを講師とする、「農産加工カリスマ小池学校」だ。同県岡谷市の特定非営利活動法人（NPO法人）「農と人とくらし研究センター」が、農水省の支援で講座を企画し

た。小池さんらを講師に計5回の講座を開設した。初回のこの日は、長野市や小川村などの北信地域や東信地域から訪れた20〜40代の参加者約20人が出席。自家や地域の作物を活用して起業を目指す受講生は、各種の交流や農産加工支援で活動の幅を広げる小池さんの「地域を豊かにし財布をあたためる」と題する講義を熱心に聴いた。

講座では今後、飯綱町や飯山市、小池さんが運営する喬木村の加工所の視察や加工体験などを実施。5回目の1月19日には、飯綱町の施設で受講生らの「今後のヒジヨーン」の発表会も行う。講座の運営委員で農村の食と文化研究者の池田玲子さん（長野市）は「南信地域は一人一人の個性を生かした起業が盛ん。こうした若手を育てようと小池さんに依頼し、北信地域で開催した」と趣旨を語った。